

2025 年度「これからの大学を支える若手職員研修会」実施の結果報告

2025 年 7 月 4 日

6 月 19 日（木）、20 日（金）に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、ハイブリッド方式（対面・オンライン併用）により開催しました。

全国の国・公・私立大学等から合計 57 名の職員の参加がありました。

講義 1 の吉岡知哉 日本学生支援機構理事長（元立教大学総長）から「高等教育の課題-拡大する大学職員の役割-」の題目で、①変貌する社会と大学、②大学と「ガバナンス」、③大学の「役割」をめぐって、④大学職員の「役割」、等の講義が行われた。

研究教育領域の拡大、教育内容の変化、深刻化する少子化、ガバナンスの重要性について知見が示され、高等教育の質に関しては教育サービスの質そのものを保証する観点が重要である。また大学職員はマネジメント能力や専門的スキルを持ち合わせなければならない。等の説明後に質疑応答が行われた。

講義 2 の吉武博通 東京家政学院理事長（元首都大学東京理事、元筑波大学理事・副学長）から「戦略構造組織と職員の役割-激動の時代に未来を拓くために-」の題目で、①激動の時代の大学を考える視点、②大学組織の根本問題について考える、③戦略と戦略的思考、④リーダーシップとマインドセット、⑤ダイバーシティ、⑥業務構造改革と DX、⑦個と組織がともに成長する好循環をつくる等の講義が行われ、合わせてグループディスカッションが行われた。

講義 3 の苅間澤勇人 会津大学教授・学生部長から「学生支援について-グループアプローチ活用のすすめ-」の題目で、①今日の学生の特徴、②学生支援のポイント、③グループアプローチ活用のポイント等について講義が行われ、グループワークは人数の異なる課題が複数回行われ、対面でもオンラインでもグループ体験の有効性が示された。

講義 4 の横山恭子 上智大学学生総務担当副学長・教授から「学生のメンタルヘルス-学生気質の変容について-」の題目で、①普通の生活に「戻る」のか、②各種の社会調査から、③巣ごもり生活と依存、④大学生の自殺等について講義と、4 回のグループワークやロールプレイも行われた。

受講生からは、日常業務のヒントがたくさんあり大変参考になった。本校の他の職員にも共有させていただきたい。など充実した研修会となった。

また今年度からは各日の最初の講義前にグループ別懇談会を実施。名刺交換・自己紹介などを事前に行ったのでグループワークがスムーズに行えたなどの好意的な意見が多かった。

このほかにスチューデントコンサルタント認定者による体験報告を、和洋女子大学 宮田佳南子さんから行っていただきました。

また本研修は、厚生労働省人材開発支援助成金「人材育成支援コース」対応型の研修会とさせていただきます。